

2017 年度事業報告

平成 29 年度（2017 年度） 事業報告書

法人の名称 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク

1 事業の成果

①災害復興支援事業

2016 年度に発生した熊本地震の支援を、年度初めまで行った。北部九州豪雨災害については、視察を行い、添田町災害ボランティアセンターでの運営支援、Facebook ページの立ち上げなどを行った。災害時に救援活動に入るかどうかを決定する指針として、災害救援チェックシートを作成した。

②災害被災地との観光交流支援事業

今年度は事業を行わなかった。

③災害教育・防災教育事業

前年度まで行ってきた学校防災教育事業に加え、地域防災事業をスタートした。

〈1〉学校防災教育事業

昨年度は公立の小中学校からの依頼が主だったが、今年度は神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会からの職員研修の依頼があり、より多くの先生に向けて研修をすることができた。また、地区センターや大学等から「親子向け防災教室」の依頼が増えてきている。

防災教育ファシリテーター養成講座（全 4 回）を 3 回開催し、35 人のファシリテーターを育成した。

* 神奈川県の地域特性と学校事情を理解しているとともに、防災の知識をあわせ持つ人材を防災教育ファシリテーターと位置づけている。

〈2〉地域防災事業

今後の団体の活動方向を検討する場として、理事・正会員による地域防災計画検討会を実施し、神奈川県での発災時における団体活動の方向性をまとめると共に、横浜市の地域防災計画ヒアリングを横浜市危機管理課、各区防災担当等に実施。また、住民の防災意識を確認するためのアンケート調査を実施し集まったアンケートを基に横浜市との意見交換を行い、今後の活動の方向性が構築された。

今年度建築安全協会助成金事業としては、防災ゲーム学習会（11 回）の他、マンション防災連続講座（4 回）を実施。マンション防災の必要性を痛感すると共に、次年度以降の事業化プランとして横浜市市民協働事業提案アイデアブラッシュアップ助成金を受託することができた。

横浜夢ファンド基盤強化助成金事業の一環として、上記の活動から得た知識や意見を市民の防災活動に活かす為のパンフレット作成を行い、3 月末に完成することができた。

④災害情報活用事業

かながわ災害情報連絡会に、団体として加盟し、DITS（Twitter を利用した災害情報共有システム）、電子地図の普及に努めた。九都県市などの防災訓練でのデモ、県内の市町村担当者会議で講演の機会を持った。県内で、市民活動団体向けの Facebook 講座等の自主講座を行った。また、災害復興事業、防災教育事業の下支えとしての活動も行った。

⑤災害被災地の産業復興支援事業

今年度は東北物産の紹介販売会を 3 回、復興キッチン（被災地の食材や酒類を取り寄せて行うイベント）1 回を開催に加え、東北未来カフェを防災教育フォーラムと同時開催し、福島の子供達の元気な姿や、大船渡で被災した若者の生の声を聞く場を設けた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 災害復興支援事業

ア) 熊本地震支援活動

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
<ul style="list-style-type: none"> 4月16日 熊本市宇城市の総合防災訓練にて、講師として参加 熊本地震支援寄附金の残金は、宇城市地域支え合いセンターに寄付 先方では、仮設住宅のレクレーション用具と、スタッフユニフォームを購入 	熊本市宇城市 地震被災者、 宇城市社会福祉協議会	1人

イ) 北部九州豪雨災害支援

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
<ul style="list-style-type: none"> 7月14日・15日 北部九州豪雨災害被災地を視察。小規模の町で人員が不足していた添田町で災害ボランティアセンター立ち上げをサポート 横浜からは災害ボランティアセンターのFacebook ページ作成を補助 災害ボラセン位置を示すデジタルマップなどを作成 	福岡県添田町の被災住民	2人

② 災害被災地との観光交流支援事業

今年度は、この事業は行わなかった。

③ 災害教育・防災教育事業

③-1 学校防災教育事業

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
1. 学校等での防災教育授業や研修の実施 5月13日 平楽中学校 2年生 HUG 5月24日 岐阜市立境川中学校講演 6月1日 綾瀬市防災教育担当者研修講演 7月21日 県教委防災教育研修講演 7月24日 厚木愛甲地区小学校安全部研修 HUG 8月21日 千葉大学 ESD 研究会シンポジウム 8月28日 聖コゼフ学園職員研修 DIG 8月29日 横浜市安全担当教員研修 HUG 8月30日 横浜市安全担当教員研修 HUG 8月31日 東山田中学校防災講演 9月1日 東高津小学校職員研修 HUG 9月5日 並木中学校職員研修 クロスロード 11月18日 桜台小学校防災マップ作り 11月24日 一本松小学校 6年生 HUG 12月2日 神奈川県立高等学校 PTA 連合会大会第1分科会講演 12月7日 アース・エコ研修クロスロード 12月8日 全国逃げ地図づくりネットワーク会議講演@明治大学 12月9日 平沼小学校クロスロード 2月17日 長野市市民協働サポートセンター主催講座 講演・DIG	神奈川県内の 小中学生・教員 3944人	のべ185人

<p>2. 防災教育ファシリテーター養成講座 @かながわ県民活動サポートセンター、横浜市民防災センター</p> <p><1>初級編 全4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月30日 防災教育体験その1 DIG (災害想像ゲーム) ・8月6日 地域防災計画&学校防災計画 (座学) ・8月19日 防災教育体験その2 逃げ地図 ・9月2日 防災教育体験その3 HUG (避難所運営ゲーム) <p><2>上級編 全4回@かながわ県民活動サポートセンターほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月14日 防災教材指導法その1 DIG (災害想像ゲーム) ・10月28日 かながわ版防災教育プログラム ・11月11日 防災教材指導法その2 逃げ地図、鎌倉まち歩き ・11月18日 特別講演 ・11月25日 防災教材指導法その3 HUG (避難所運営ゲーム) <p><3>初級編 全4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月14日 防災教育体験その1 DIG (災害想像ゲーム) ・1月20日 地域防災計画&学校防災計画 (座学) ・2月3日 防災教育体験その2 逃げ地図 ・2月10日 防災教育体験その3 HUG (避難所運営ゲーム) <p><4>ファシリテーターの実践研修 (講座・講演等) 講座等、ファシリテーターとしての実践研修の場として活用した。 神奈川県内の小中高校、市民団体計37件。</p>	<p>防災教育に関心のある市民</p> <p>21人</p> <p>6人</p> <p>6人</p> <p>8人</p>	<p>6人</p> <p>6人</p> <p>6人</p>
<p>3. 防災教育フォーラム 2月26日 (株)富士通エフサス イノベーション&フューチャーセンター</p> <p><1>パネルディスカッション～学校等での実践事例発表～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立一本松小学校 (総合的な学習の時間を利用した、DIG や HUG の取り組み) ・横浜市立桜台小学校 (地域防災拠点訓練と連携した防災教育の取り組み) ・横浜市立北綱島小学校 (特別支援学級での取り組み) ・川崎市立東高津小学校 (職員研修での HUG や地域と連携した訓練) ・綾瀬市教育委員会 (職員研修でのクロスロードや各校での訓練の工夫) ・横浜市立平楽中学校 (3年生学年全体での HUG の取り組み) <p><2>講演 岩手大学大学院教育学研究科 森本晋也准教授 釜石東中学校で震災前から取り組んでいた防災教育についてのお話しや、震災当時中学生だった生徒 (現在は大学生) に行っている、当時の防災教育についてヒアリング調査の内容についてのお話し。</p>	<p>神奈川県内の学校関係者や防災団体 70人</p>	<p>10人</p>
<p>4. かながわの防災教育ポータルサイト「かながわ子ども防災情報ステーション」の運営</p>	<p>神奈川県内の学校関係者や地域団体</p>	<p>2人</p>

③-2 地域防災事業

かながわの地域防災力を高める為の活動の内、学校防災教育事業以外のもの

ア) 地域防災の現状と課題把握

団体としての活動方針や事業計画をまとめるための基礎として、横浜市の地域防災計画検討をはじめとして、現状の課題と解決提案を探り、地域防災の事業化計画を作成した。

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
<p>1. 横浜市地域防災計画の把握</p> <p>4月～6月 理事、監事による地域防災計画読み合わせ</p> <p>8月～9月 横浜市危機管理課及び神奈川、鶴見、中、都筑の各区訪問、課題や疑問のヒアリング実施。</p> <p>1月～2月 ヒアリングで得た意見やアンケート結果等を元に、防災計画についての意見をまとめ、再度訪問。</p> <p>今までつながりの薄かった横浜市との連携が図れ、次年度の地域防災活動に繋がる関係が築けた。</p>	<p>当団体会員 横浜市民</p>	6人
<p>2. 住民の防災意識アンケート調査実施</p> <p>住民の発災時の行動や事前準備の実態を把握するため、マンション住民と戸建て住民に分けたアンケート調査を実施。</p> <p>調査は、会員対象のWEBアンケートに加え、一般住民の意識を把握するため、防災関係以外の一般のイベント参加者や一般団体会員を対象とした紙での調査も実施。</p> <p>回収数 633件 調査報告はホームページ参照</p>	横浜市及び神奈川県民	10人
<p>3. 防災啓蒙マニュアルの作成</p> <p>横浜市市民局夢ファンド助成金事業の一環として、一般住民向けの防災パンフレットを作成。</p> <p>中とじ8P A4フルカラー 5,000部印刷</p> <p>内容には、横浜市・各区を訪問した結果や防災横浜の資料に加え、住民アンケートでの状況把握を反映。</p> <p>会員、支援者向けの配布に加え、今年度の各地区イベント等で配布し、防災意識の啓蒙と事業認知強化を図る予定。</p>	横浜市及び神奈川県民	8人

イ) 市民、一般団体向け防災意識啓蒙活動

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
<p>1. 各地のイベントでの防災意識の啓蒙活動や防災意識アンケートの取得活動として、DIGや防災イベントの体験会を実施。</p> <p>5月27日 かながわ県民活動サポートセンターチャレンジブース</p> <p>8月2日 神奈川区神之木地区センター</p> <p>9月9日 JC かながわブロック大会</p> <p>10月12日 神奈川区民活動支援センター活動PR展</p> <p>10月21日 TOKAI グローカルフェスタ</p> <p>11月12日 かながわボランティアフェスタ 2017</p> <p>1月20日 かながわ県民活動サポートセンター 新春交流会</p> <p>3月10, 11日 かながわ県民センター市民活動フェア</p> <p>3月21日 神奈川区菅田地区センター</p>	一般市民	延べ40人

2. 防災ゲーム学習会 計 11 回 7月～12月 防災マップ&防災センター見学 2 回、 クロスロード 4 回、DIG3 回、HUG2 回	市民 42 人	5 人
3. 障がい者施設の防災研修 3月 16日 ワーク花きりん 防災研修 NPO 法人障がい者就労支援事業共創ネットワークの紹介で江戸川区の 就労支援事業所に対して、災害時における課題と防災マニュアル作り の研修を実施。	ワーク花きり ん他 10 名	3 名

ウ) マンション防災啓蒙活動

地域防災計画検討の中から重点項目として浮かび上がったマンションの防災力強化について、勉強会を兼ねた講座を実施。対象者の多さを実感し、次年度事業計画に繋がった。

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
1. マンション防災連続講座 横浜市住民の半数を占めるマンション居住者の不安を解決するため、 マンションの課題と被災実例、防災対策を学ぶ講座を実施。 講師：第 1 回 弁護士 岡本氏 第 2 回 マンション管理会社 松井氏 第 3 回 東北マンション管理組合 小島氏 第 4 回 溝の口マンション自治会役員 山本氏 地域防災計画で触れられていないマンション防災の現状と課題を認識 し、マンション防災が今後の地域防災活動に必須であることを共有し た。 * 講座参加のご縁で横浜市住宅局住宅再生課を訪問し、マンション防 災活動についての意見を交換。	マンション管 理組合役員、 自治会関係 者、行政他 延べ 66 名	6 名
2. マンション防災講座 3月 3日 ロイヤルタワー鶴見防災委員会 鶴見区からの紹介で、マンション防災計画作りの為の講座を実 施。	ロイヤルタワ ー鶴見防災委 員会 10 名	3 名
3. まちの防災組織としてのマンション防災支援事業提案 平成 30 年度の市民協働事業提案アイデアブラッシュアップ助成 金を受託。 平成 30 年度の事業として横浜市危機管理課、住宅再生課との協 働事業アイデア事業化検討を実施する。	横浜市内マン ション住民	6 名

④災害情報活用事業

ア) 災害情報ボランティアスキルアップ講座事業

基金 21 登録団体を中心とした団体向け Facebook 講座

日時 内容	受益対象者数	従事者人員	備考
6月 13日～27日全 3 回 7月 13日～27日全 3 回 1月 6日～1月 14日全 3 回	延べ 47 人	2 人	かながわ県民センタ ー11 階

団体向け Facebook 講座（出張講座）

日時 内容	受益対象者数	従事者人員	備考
1月28日 鎌倉市民活動センタースタッフ研修	13人	1人	受講団体事務所
3月13日 NPO 法人女性の家サーラースタッフ研修	6人	1人	

イ) かながわ災害情報連絡会を通じて ICT を防災に活かす普及活動

DITS（ツイッターを利用した情報発信システム）の普及のための講演活動などを、かながわ災害情報連絡会を通して行った

⑤産業復興支援事業

ア) イベント事業

日時内容	受益対象者数	従事者人員	備考
東北物産品の支援販売 11月12日 かながわボランティアフェスタ会場 11月5日～27日 東北グルメフェア on WEB 共同購入方式での頒布会 3月11日,12日 市民活動フェア 活動紹介と東北グルメの販売、提供	被災地での生産者多数 神奈川県を中心とした首都圏在住者約350人	10人	アースプラザ かながわ県民センター他
11月8日 復興キッチン Vol.15 気仙沼 丸光製麺 熊谷専務をお迎えして 震災後の今を語る講演会と、丸光製麺と気仙沼の旬の食材を使った調理と角星のお酒。	24人	5人	BUKATSUDO

イ) 東北未来カフェ

学校防災フォーラムと同時開催

日時 内容	受益対象者数	従事者人員	備考
2月24日 東北未来カフェ ＜NPO 法人 JAM ネットワークの東北支援活動報告＞ NPO 法人ビーンズふくしまの「みんなの家@ふくしま」でことばキャンプを受講した子どもたち4人が自分の考え、思っていることを発表した。 ＜パネルディスカッション＞ ～東北出身の若者の声を聞く～ 大船渡出身、高校1年生で震災を経験したお二人をパネラーにお迎えします。東日本大震災当時のお話や、彼女たちが受けてきた防災教育のことなどを聞いた。 その後、名刺交換会での交流	70人	10人	株式会社富士通エフサス イノベーション&フューチャーセンター

(2) その他の事業

なし